

Ⅱ.3.計画の要点等 (4) 建築物の構造計画について、建築物の特性に応じて採用した構造種別・耐震計算ルート(採用したルート 建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)~(8)の要点等を具体的に記述する。 なお、要求図面では表せない事項についても記述する。また、(1)、(3)及び(5)については、必ず【イ を○で囲む。)とそれらを採用するに当たり、耐震性を確保するために考慮したこと メージ図記入欄】に、平面図、断面図、イラスト等により当該計画に対する考え方等を示したうえで、 構 造 種 別 当該要点等を記述する。 耐震計算ルート $\nu - 1 \cdot \nu - 2 \cdot \nu - 3 \cdot その他($ (1) 居住部門の個室の計画において、「入居者の住みやすさ」及び「介護のしやすさ」について考慮したこと (〇で囲む。) 入居者の住みやすさ: 考慮したこと: 【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】 (5) 車寄せの屋根・庇等となる部分の寸法、有効高さ及び車寄せの屋根・庇等の構造計画(各種寸法、部材の 材質、支持方法及び耐震性等)について考慮したこと 車寄せの屋根・庇等となる部分の寸法(mm) 【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】 (長辺×短辺×厚さ): 有効高さ(mm): 構造計画について考慮したこと: 介護のしやすさ: (6) 地盤条件や経済性を踏まえた、支持層の考え方、採用した基礎構造とその基礎底面のレベルについて考 慮したこと 答 (2) 居住部門及び居宅サービス部門のスタッフルーム等介護に必要な諸室の配置について考慮したこと (7) インフルエンザやノロウイルスへの対策について、建築計画や設備計画において考慮したこと (3) 共同生活室及びデイルームについて、自然光を取り込みつつ、冷房時の負荷抑制を図るために、建築計 画において工夫したこと(Low-Eガラスを使用する工夫を除く。) (8) 高齢者介護施設としての空調方式について、採用した空調方式とその理由 空調方式: 【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】 その理由: 試 験 場 氏 名 受験番号